

# イーストスプリング インド投資マンスリー

2024年10月号

インド投資マンスリー  
動画配信中！



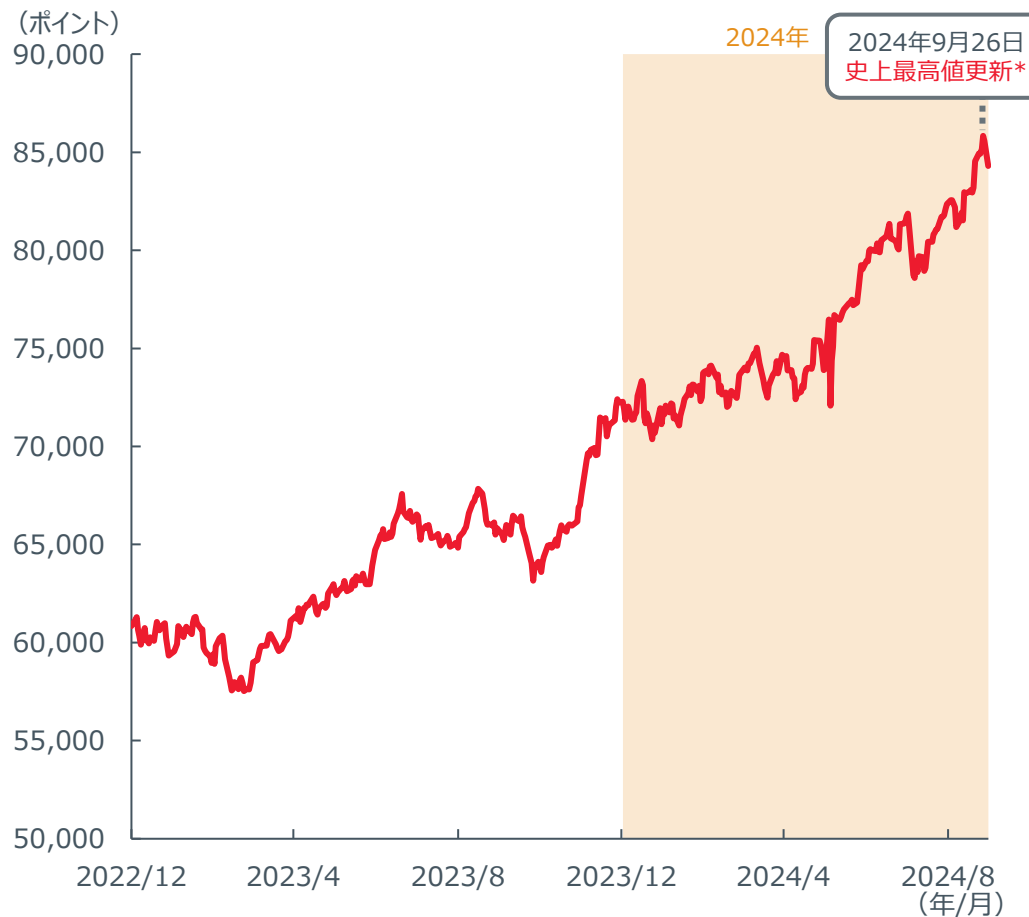
## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。  
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

# 株式：米国の利下げなどを受け、インド株式は最高値更新

## SENSEX指数の推移 (2022年12月末～2024年9月末、日次)



## 2024年9月の振り返り

9月のインド株式（SENSEX指数）は月間で2.3%上昇しました。インフレが落ち着きを見せる中、雇用市場に減速の兆しが見られることからFRB（米連邦準備制度理事会）が4年半ぶりに利下げに踏み切るなど、一部の主要国中央銀行が利下げを行ったことから、主要国の株式は概ね上昇しました。特に中国株式が好調で世界的な株式上昇をけん引しました。

インド株式は大型株が中型株・小型株を上回り、また、26日には史上最高値（終値ベース）を更新しました。

セクター別では、金属、耐久消費財が上昇率上位となりました。一方、電気通信、石油・ガスなどは下落しました。

投資主体別売買動向では、国内投資家、海外投資家ともに純流入となりました。9月の海外投資家からの資金流入は2024年中で最大となりました。

## 規模別指数の期間別騰落率 (2024年9月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	2.3%	6.7%	14.5%
中型株 (BSE中型株指数)	0.6%	6.9%	25.5%
小型株 (BSE小型株指数)	2.0%	9.6%	32.4%

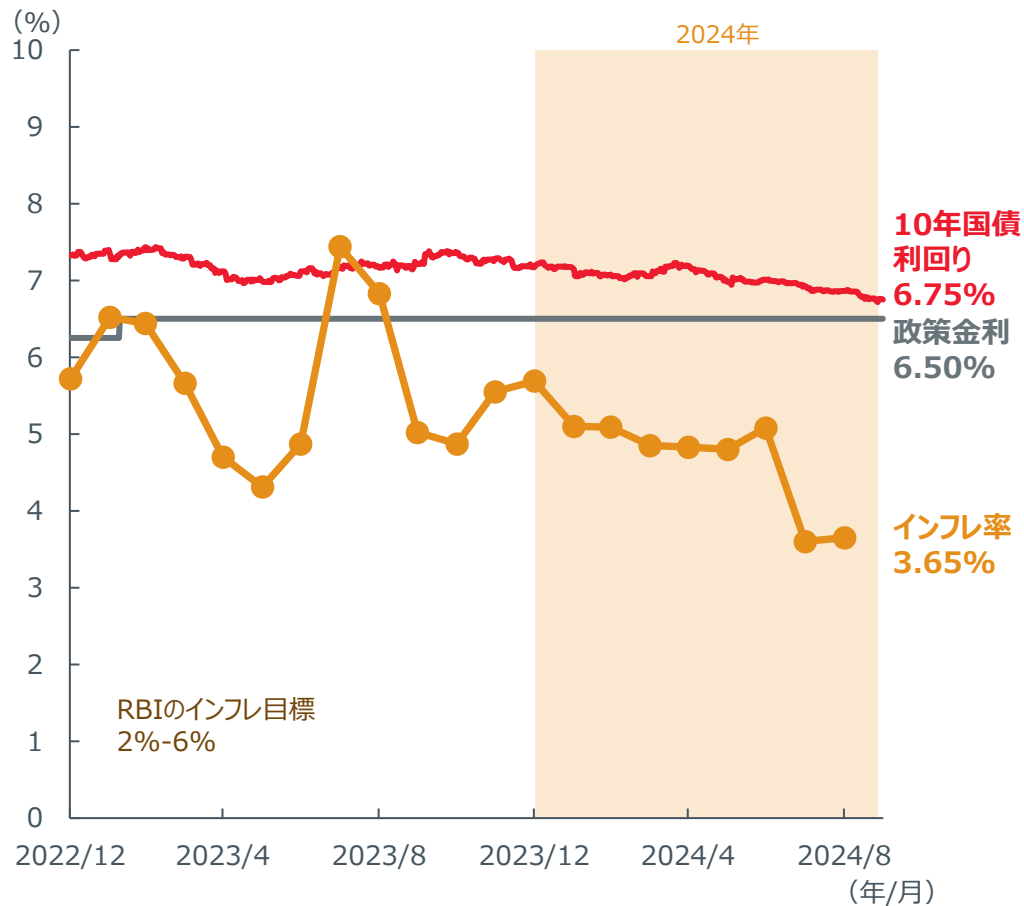
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。\*終値ベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

# 債券：10年国債利回りは低下、インフレ率は上昇

## 政策金利\*、インフレ率\*\*、10年国債利回りの推移

(2022年12月末～2024年9月末、日次)



## 2024年9月の振り返り

10年国債利回りは、低下（価格は上昇）し、6.75%で月を終えました。

FRBによる政策金利の引き下げを受けて世界の多くの中央銀行が利下げを実施し世界的に金融緩和が進む中、インド準備銀行（RBI、中央銀行）は利下げを行わず、金融緩和の縮小に引き続き注力する姿勢を示しています。

12日発表の8月のインフレ率は前年同月比+3.65%の上昇となり、前月の同+3.60%から加速したものの、2カ月連続でRBIの目標の中央値（+4%）を下回りました。野菜を中心に食品価格が上昇したことが要因でした。

## 債券利回りと利回り差の変化幅

	2024年9月末	2024年8月末	変化幅
10年国債利回り	6.75%	6.86%	-0.11%
10年社債利回り***	7.30%	7.42%	-0.11%
利回り差	0.55%	0.56%	0.00%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

\*レポ金利。\*\*消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2024年8月まで。

\*\*\*10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

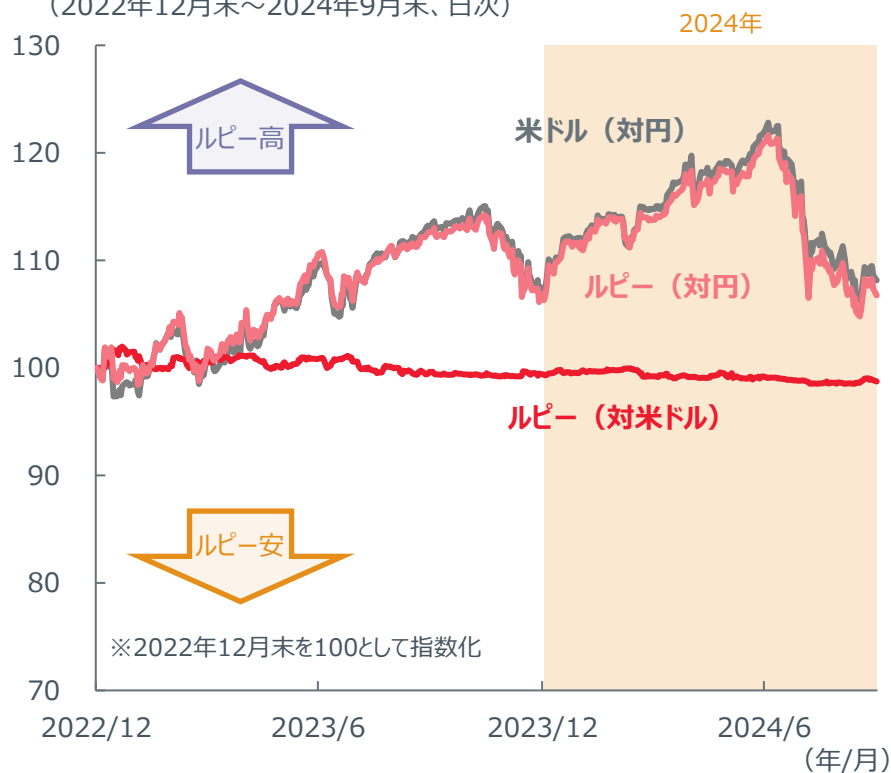
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

# 為替：ルピーは対米ドルで上昇、対円で下落

- 9月のルピーは、対米ドルで0.1%の上昇、対円で1.8%の下落となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

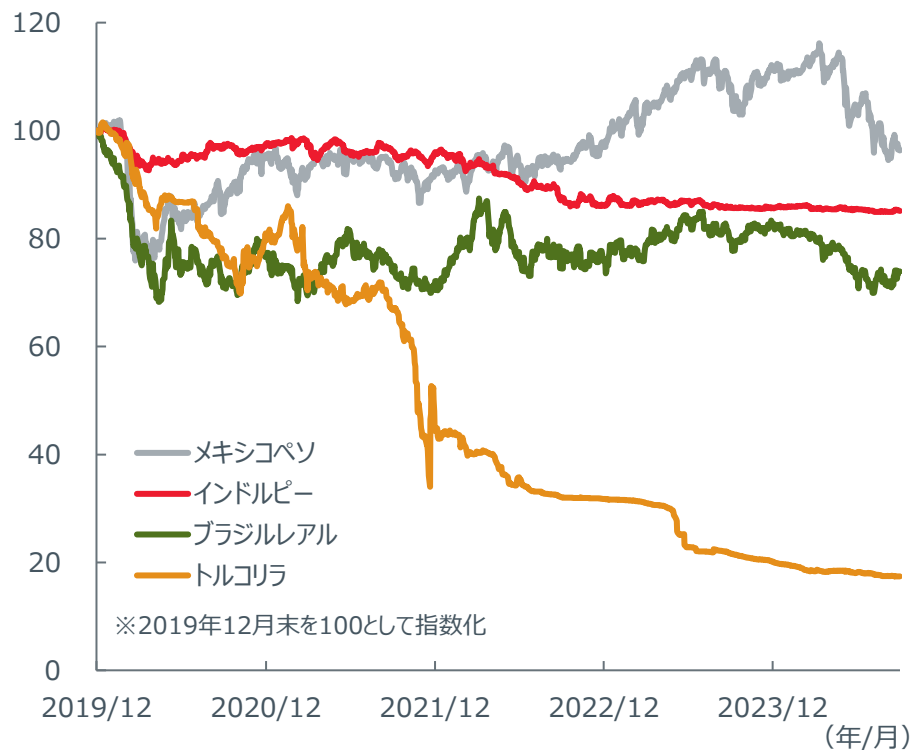
## ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2022年12月末～2024年9月末、日次)



## 主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2019年12月末～2024年9月末、日次)



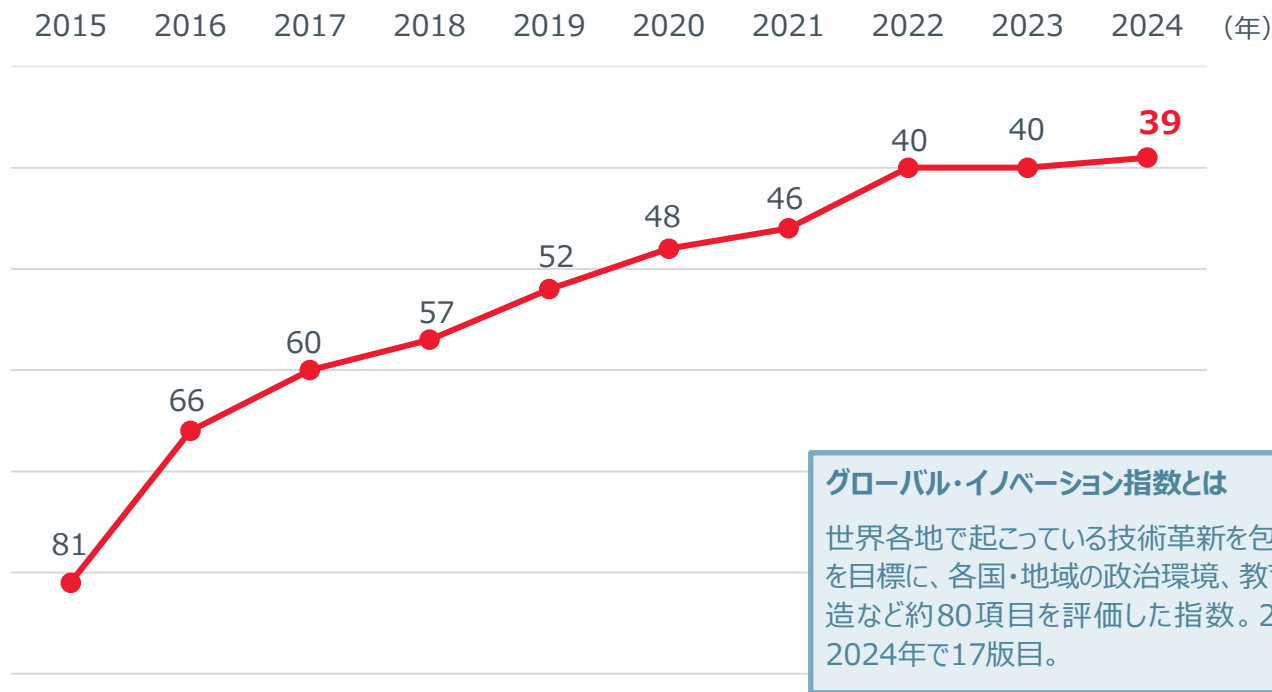
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

# 2024年のグローバル・イノベーション指数、インドは39位に

- 国連の世界知的所有権機関（WIPO）は9月26日、世界133カ国・地域の技術革新力を順位付けした2024年版「グローバル・イノベーション指数（GII）」を発表しました。**インドは39位となり、前年から順位を1つ上げ、中央・南アジア地域では1位**となりました。
- インドは過去10年で81位から39位に上昇するなど最も急速に順位を上げた国の1つとされ、また、経済発展のレベルから予想される以上のパフォーマンスを発揮した「イノベーション・オーバーパフォーマー」に14年連続で選出されました。情報通信技術（ICT）サービスの輸出、ベンチャーキャピタルからの資金、無形資産の集約度などの主要分野で優れていると評価されました。

## グローバル・イノベーション指数におけるインドの順位

（2015年～2024年）

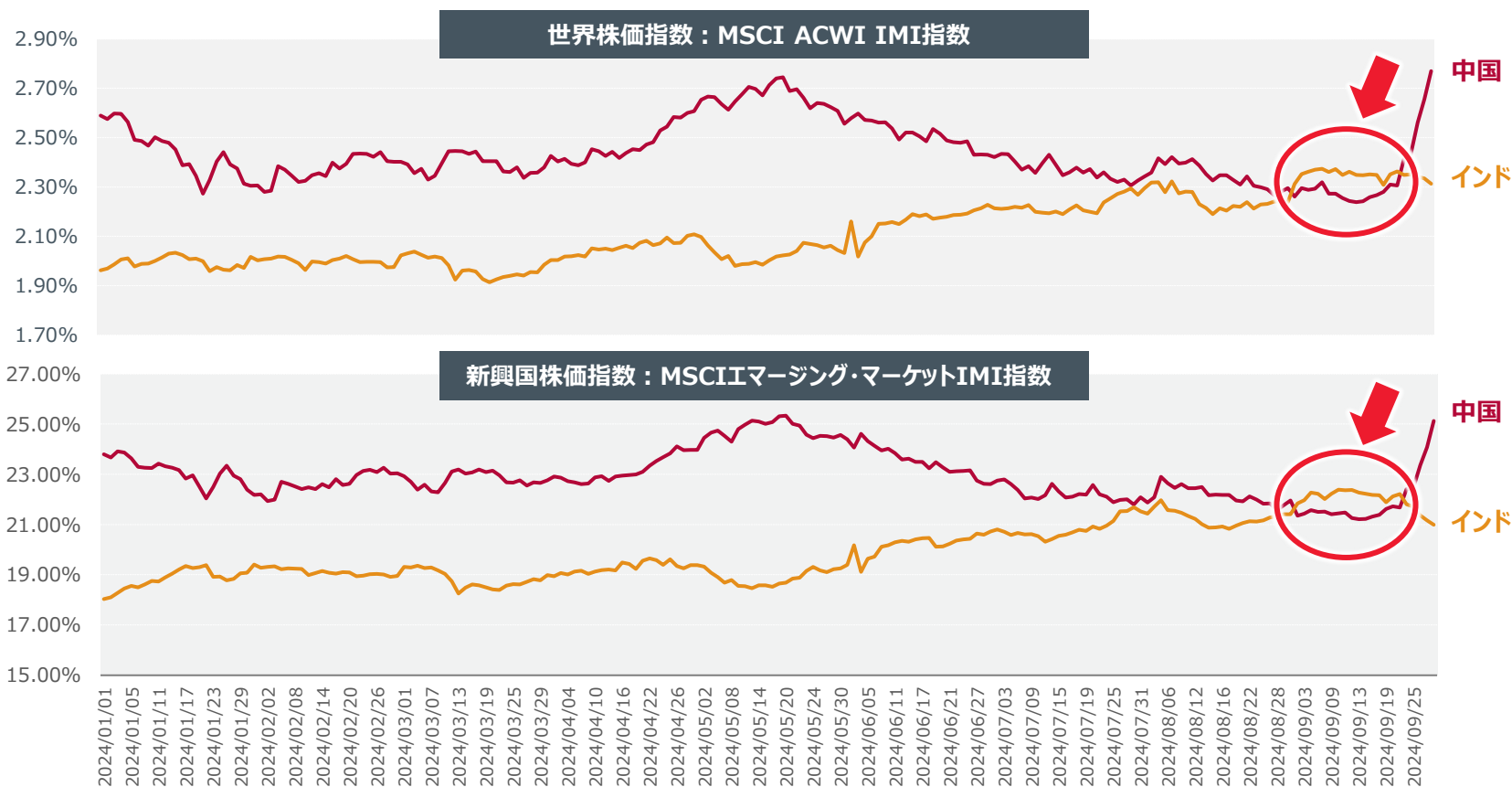


出所：世界知的所有権機関（WIPO）のデータ、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

# 主要世界株価指数の構成割合で、一時インドが中国を抜く

- 世界株式、新興国株式の主要な株価指数（大型株、中型株、小型株を含む）である**MSCI ACWI IMI指数**、**MSCIエマージング・マーケットIMI指数**の国別構成割合において、**インドの構成割合は9月に入って一時的に中国を追い抜きました。**
- その後は中国株の上昇を背景に再び中国がインドを追い抜きましたが、世界中の投資家にとって、ますます**インドは無視できない市場**となっています。
- 当該指数に占めるインドの割合拡大につれ、同指数に連動するパッシブ運用ファンドへのインドの組み入れ増などが想定され**インド株への資金流入が期待**されています。

世界株価指数、新興国株価指数に占める中国、インドの構成割合の推移（2024年1月1日～2024年9月30日、日次ベース）

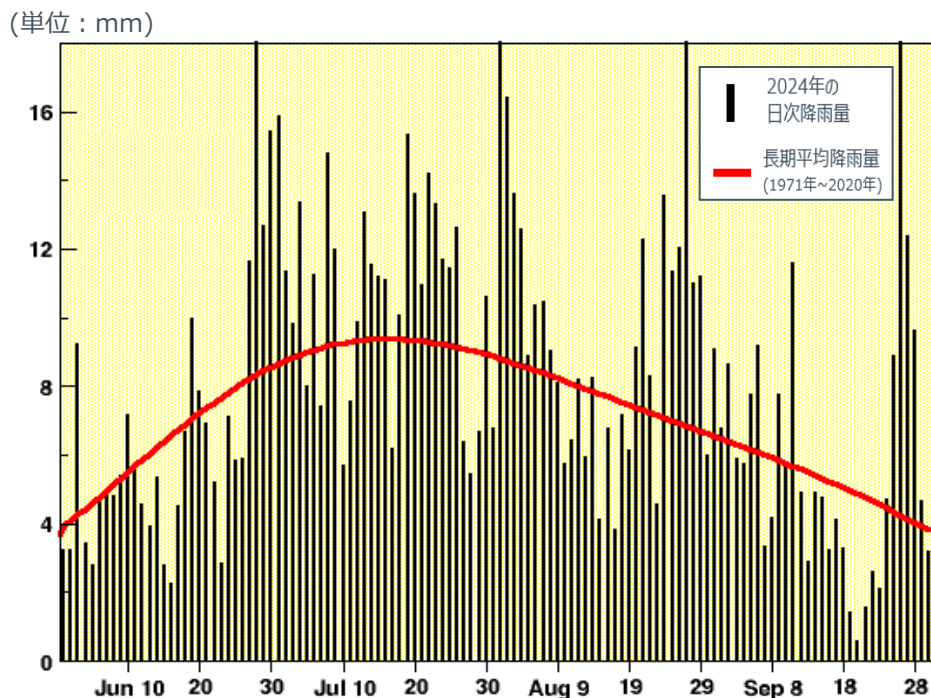


# 今年のモンスーン期（6-9月）降雨量は平年を上回る

- 毎年6月から9月頃にかけての雨季のことを『モンスーン』と言います。インドの主要産業である農業は、農業用水の多くを**モンスーンがもたらす雨に依存**しているため、モンスーンの降雨量は農作物の収穫に大きな影響を与えます。また、消費者物価指数（CPI）の構成比の**約5割を食料品価格が占める**ことから、モンスーンの降雨量予報は金融市場でも注目されています。
- 今年のモンスーンは5月30日にケララ州に到来したものの、その後の進行は停滞していたため、6月の月間降雨量は当初のインド気象局（IMD）の予想\*に反して平年を下回る水準となっていました。しかし、7月、8月、9月と月間降雨量はインド全体ではそれぞれ平年を上回り、**最終的に6~9月の累計降雨量は平年を8%上回った**とIMDは発表しました。モンスーン期の降雨量が平年を上回ると主要農作物の生産量の増加が見込まれるため**今後の物価安定が期待**されます。

## 2024年モンスーン期：日次降雨量と長期平均降雨量

（2024年6月1日～9月30日、日次）



## 2024年モンスーン期：地域別の降雨量\*\*

（2024年6月1日～9月30日、累計）



出所：“Monsoon Online, Indian Institute of Tropical Meteorology”、インド気象局（IMD）、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

\*インド気象局（IMD）は5月27日、今年のモンスーンの降雨量の予想を更新（二次予報）し、一次予報と同様、モンスーンの降雨量（6-9月）は全国的に平年以上となる可能性が高い、との予想を維持していました。\*\*長期平均降雨量との対比によるデータ。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

## 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。